

保健福祉に関する企業意識アンケート調査（案）

日ごろから、札幌市の障がい福祉行政の推進に、ご理解・ご協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

このたび、札幌市では、「さっぽろ障がい者プラン2018」の改定や、今後の障がい福祉施策の推進のための参考資料とするため、企業の皆様の、障がいのある方とのかかわりや障がい福祉施策に対する考え方などをお聞きする調査を行うことといたしました。

突然のお願いで恐縮ですが、趣旨をご理解いただき、ご回答くださいますようお願いいたします。

なお、今回の調査は、札幌市内の企業の中から無作為に抽出して、郵送させていただいたものです。

ご回答にあたって

- ① 本アンケートは、令和元年9月1日現在の状況で記入してください。
- ② 回答は、あてはまる選択肢の番号に○をおつけください。別に回答欄があるものについては、番号または字句を回答欄にご記入ください。
- ③ ご回答いただきましたアンケート票につきましては、統計的に処理し、個票のまま公表することは一切ございません。また、本調査の用途以外の使用はいたしません
- ④ 記入していただいたアンケートは、同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに無令和元年●月●日（●）までに、投函してください。

ご不明な点やお問い合わせは以下までお願いいたします。

株式会社 北海道二十一世紀総合研究所

担当：清家、河原

Tel011-231-3053/Fax011-231-3143

(札幌市委託業務)

52 F1

1 貴社について

企業名		
住所		
アンケート ご回答者	お名前	所属部署
ご連絡先	電話番号:	メールアドレス:
業種	1. 農林水産業 2. 製造業 3. 建設業 4. 情報通信業 5. 運輸業 6. 卸売・小売業 7. 金融・保険業 8. 不動産業 9. 飲食店・宿泊業 10. 医療・福祉 11. 教育・学習支援業 12. サービス業 13. その他 ()	
主な 事業内容		
資本金	1. 1,000万円未満 2. 1,000～3,000万円未満 3. 3,000～5,000万円未満 4. 5,000～1億円未満 5. 1億円以上	
従業員数	名 (パート除く)	

2 障がいのある方の雇用について

問1. 貴社では障がいのある方を雇用したことはありますか。あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 1. 現在雇用している【→問2へ】 | 3. 雇用したことはない【→問6へ】 |
| 2. 過去に雇用したことがある【→問2へ】 | |

問2. 貴社が雇用している（していた）方の障がいの種別について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | | |
|----------|----------|----------|--------|
| 1. 身体障がい | 2. 知的障がい | 3. 精神障がい | 4. その他 |
|----------|----------|----------|--------|

問3. 貴社が雇用している（していた）方の障がいのある方のおもな職務内容について、自由にご記入ください。

--

問4. 貴社が、障がいのある方を雇用されたきっかけについてあてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|----------------|----------------------|
| 1. 学校や施設からの紹介 | 4. 一般求人からの雇用 |
| 2. ハローワークからの紹介 | 5. 入社後の従業員が障がいを負ったため |
| 3. 知人からの紹介 | 6. その他 () |

問5. 貴社が、障がいのある方を雇用して良かったこと、困ったことについて自由にご記入ください。

(良かったこと)	(困ったこと)
----------	---------

問6. 貴社では今後、障がいのある方を雇用したいと思いませんか。あてはまるものひとつに○をつけてください。

1. 積極的に雇用したい【→問7へ】	3. 雇用は考えていない【→問8へ】
2. 検討していきたい【→問7へ】	

問7. その理由としてもっともあてはまるものひとつに○をつけてください。

1. 雇用義務があるから	4. 地域、社会への貢献のため
2. 人手が不足しているから	5. その他 ()
3. 雇用による社内への好影響が期待できるから	

問8. その理由としてもっともあてはまるものひとつに○をつけてください。

1. 業種的に難しい	5. 受け入れ体制、設備がないため
2. 障がいの有無に関わらず追加雇用が難しい	6. 教育・指導が難しいため
3. 適した業務がない	7. その他 ()
4. 生産性が低くなるため	

問9. 障がいのある方の雇用に関して、各種相談窓口や支援制度が用意されています。あなたがご存知のものすべてに○をつけてください。

1. ハローワークみどりの窓口	6. 就業・生活相談室テラス
2. 北海道障害者職業センター	7. 就業・生活相談室しんさっぽろ
3. 障がい者就業・生活支援センターたすく	8. 元気スキルアップ事業
4. 就業・生活応援プラザとねっと	9. トライアル雇用助成金制度
5. 就業・生活相談室からびな	10. 障がい者雇用事業主への助成金制度

問10. 障がいのある方の雇用を促進していくためには、企業に対してどのような働きかけが必要だと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 行政機関からの雇用にかかる各種支援策の情報発信	4. 障がいのある方への教育・訓練制度の充実
2. 学校や施設、ハローワークからの積極的なアプローチ	5. 企業への理解促進・意識啓発を目的とした研修事業等
3. 社内体制構築・教育の仕組みなどのコーディネート	6. 就業体験（インターンシップ）の促進
7. その他 ()	

問11. 貴社では、在宅就労（テレワーク）を導入していますか。あてはまるものひとつに○をつけてください。

1. 導入している (在宅就労者 名、うち障がいのある方 名)	3. 導入する予定はない
2. 導入について検討している	

問18. 障がい当事者、関係団体等にどのような企画提案をして欲しいですか、あるいはどのようなことを協力してもらいたいですか。具体的にご記入ください。

問19. あなたは障がい者雇用や障がい者と企業との関わりなどについてどのようにお考えですか。

項目	選択肢			
①企業は法定雇用率を守ったうえで、事業活動を行っていくべきだ	1. とてもそう思う	2. そう思う	3. あまりそうは思わない	4. 全くそう思わない
②障がい者雇用を促進するため、障がい者に合わせた業務を企業で切り出したり、柔軟な勤務形態にすることが大切だ	1. とてもそう思う	2. そう思う	3. あまりそうは思わない	4. 全くそう思わない
③障がい者と一緒に仕事をすることは従業員にとってもよい教育になる	1. とてもそう思う	2. そう思う	3. あまりそうは思わない	4. 全くそう思わない
④障がい者のことをそもそもよくわからないから、雇用に一步踏み出せないことがある	1. とてもそう思う	2. そう思う	3. あまりそうは思わない	4. 全くそう思わない
⑤障がい者を直接雇用しない企業でも、障がい者施設・団体への業務発注を推進すべきだ	1. とてもそう思う	2. そう思う	3. あまりそうは思わない	4. 全くそう思わない

問20. 企業による障がいのある方、支援団体に対する社会貢献活動、地域活動の推進について、札幌市に期待する点があればご記入ください。

4 共生社会の在り方について

問21. 札幌市は、障がいのある人もない人も、その命の尊厳が当然に保障され、市民誰もが互いに人格と個性を尊重し支え合う共生社会の実現を目指しています。あなたが考える「共生社会」とはどのような社会ですか。共生社会のイメージについて自由にご記入ください。

